|  |
| --- |
| 2025年6月第２週【６/13発行】　模範解答　　中学生用教材　 「世界で一番貧しい大統領」ウルグアイのムヒカさん、死去／thoughの使い方・最上級 |

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝7：00に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。
そのメールで「できるだけ3週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、
お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.comにお問い合わせください。

また、Instagramでも、毎週金曜にお知らせを出しているので、フォローをお願いします。

★椿由紀　Instagram　 <https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/>

この教材の使い方

（１）教材はWordとPDFでリリースします。Wordファイルはお好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。

（２）「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。

（３）毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日HPに訂正版を出しています。

申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。

（４）全ての教材に暗唱文（重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス３～５文）を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセ

ミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、２０２１年から始めました。文を暗唱してから

ニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げに暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://timesofindia.indiatimes.com/world/rest-of-world/latin-america-mourns-worlds-poorest-president-mujica-dead-at-89/articleshow/121150215.cms>

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250514_10/>

<https://www.asahi.com/ajw/articles/15767600>

<https://www.bbc.com/news/magazine-20243493>

<https://mainichi.jp/english/articles/20250514/p2g/00m/0in/002000c>

<https://www.theguardian.com/world/2014/sep/18/-sp-is-this-worlds-most-radical-president-uruguay-jose-mujica>

<https://www.reuters.com/world/americas/rebel-prisoner-leftist-latin-american-icon-pepe-mujica-reflects-2024-05-25/>

<https://www.brainyquote.com/authors/jose-mujica-quotes?utm_source=chatgpt.com>

<https://www.firstpost.com/explainers/jose-mujica-death-worlds-poorest-president-legacy-explained-13888404.html>

<https://www.yahoo.com/news/uruguay-declares-three-days-national-171210419.html?guccounter=1&guce_referrer=aHR0cHM6Ly93d3cuZ29vZ2xlLmNvbS8&guce_referrer_sig=AQAAAMphVdSCO1Nv8KkNTmfhNmlYCrHW-Pl-5j-1IjYeVmBmUAzqarK-bBq2busuzFZA4bpcxBnVCmOqnK3QY5LtulQO1g3XOqehln4fhDDVAnBFJujKK70WoBmRog7uY6s_maFLhULYDXYAFXHcpS5uf4dxJJkGB1ztj1Dhf88ek3_L>

<https://www.theguardian.com/global-development/2023/dec/27/uruguays-green-power-revolution-rapid-shift-to-wind-shows-the-world-how-its-done>

1ページ

**Q1**He was the president of Uruguay. ※ウルグアイの場所を地球儀または世界地図で確認しましょう。

**Q2**His nickname was “the world’s poorest president” because he lived a simple life.

**Q3　(1)**He lived on a small farm. (2)He drove an old car.
(3) He donated 90% of his salary to charity.

**Q4**Because he thought living simply gave him more freedom and peace.

**Q5　(**He was the president) from 2010 to 2015.

**Q6**① 最低賃金を上げた。　② 貧しい家族のための住宅補助プログラムを始めた。

**Q7**　It went down from 18.5% to 9.8%.

**Q8　英語：**Hydropower, solar power, wind power, biomass energy, and geothermal energy

　　日本語：水力発電・太陽光発電・風力発電・バイオマス発電・地熱発電

**Q9**自然から作られるので、くり返し使えて、地球にやさしい。

★英語で答えるなら・・・Unlike oil and gas, renewable energy comes from nature, so it can be used again and again and is friendly to the Earth.

**Q10**About 98% comes from clean energy now.

2ページ

**Q11（解答例）**
★Yes, I do. I think he was a good leader. He helped many poor people and promoted the use of renewable energy in Uruguay. など
**Q12（返信メールの解答例）**

Yes, I think Mr. Mujica was a great president, too. I read a picture book about him.

About your questions,
1. Yes, I think Japanese leaders should also live simply like Mujica.　It may help them think more about poor people.

2. In Japan, we use a lot of fossil fuels, but clean energy such as solar and wind power is growing.

（In 2022, fossil fuels like oil, coal, and natural gas made up 72%, and renewable energy made up 22%.）

※参考資料

<https://sustech-inc.co.jp/carbonix/media/power-plant-ratio-2024/>

3ページ

１　① but, though, though　② Though　③ but 　　④ Though 　⑤but

２　１）the kindest　２）The most important 　３）the poorest

４）the simplest 　５）the cleanest　６）the most ７）the best

指導の手引き

今週は「世界でいちばん貧しい大統領」として知られる、ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカ氏を取り上げました。

5月初旬、フランシスコ教皇の逝去に関するニュース教材を作成し、「教皇はバチカンの宮殿ではなく、質素な住まいで暮らしていた」というエピソードを、中高生に紹介しました。この話題を通じて、「国家のリーダーはどのような暮らしをすべきか」という問いに対して、生徒たちが強い関心を寄せるようになったのです。

ディスカッションに入る前に、私は次の4つの事例を写真とともに提示いたしました。
① 日本の首相公邸（石破首相が居住）
② アメリカのホワイトハウス（トランプ大統領が居住）
③ 「世界一貧しい大統領」と呼ばれたムヒカ氏の質素な農場での暮らし
④ プーチン大統領の豪邸と、それを取材したナワリヌイ氏の獄中死（※この話題は2024年3月第1週の高校生向け教材で扱いました）
参考：<https://yuki-tsubaki-news.com/high_back_number/>

生徒たちの意見は賛否に分かれ、非常に活発な議論が交わされました。

【賛成（Yes）派】
・質素な暮らしを貫くリーダーは信頼できる
・節約された国家予算を、貧困対策や教育など公共の福祉に充てられる

【反対（No）派】
・国家のリーダーは、常に暗殺などのリスクにさらされており、一定の警備体制と安全な住居が必要
・天皇陛下やイギリス王室のように、国の象徴の存在は、威厳ある住まいに住んで文化を表現すべき

ちょうどこのような議論を行っていた矢先の5月13日、ムヒカ氏の訃報が届きました。
生徒たちも「素晴らしい人を失ってしまったね」と、静かに語っておりました。

私の教室には、以前から絵本『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』（2016年購入）があります。
参考：<https://amzn.asia/d/8859ynM>

この中に出てくる、「真の貧しさとは、お金や物を持っていないことではなく、持っていても満足できず、もっと、もっと…と欲しがること」というムヒカ氏の言葉は、私自身の胸にも深く響きました。

私のスクールで使用している「英語ことわざカルタ」の中にも、*“The more you get, the more you want.”* という一枚があります。
このカードには、札束に囲まれて太っている男性のイラストが描かれており、
それを見た小学生たちは、「こんな欲ばりな生き方はしたくないなぁ」とつぶやきます。

ムヒカ氏が語る「真の貧しさ」と、このことわざには、深い共通点があり、子どもたちの心にも届いているように感じました。

この絵本は、小学生クラスで時折読み聞かせていたこともあり、小・中学生の中には、ムヒカ氏の顔を見覚えていた子もおり、「この大統領さん、亡くなったんだね……」と、ぽつりと話してくれました。

また、10年ほど前に私が読んだノンフィクション『ホセ・ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領』（角川文庫）も、今回の教材作成に大いに参考になりました。
参考：<https://amzn.asia/d/2njU59z>

この書籍の原題はスペイン語で “Una oveja negra al poder”――直訳すれば「黒い羊が権力の座に就く」。
英語でいう *a black sheep in power*、すなわち「異端児が政治のトップに立つ」という、非常に象徴的な意味を持ちます。

ムヒカ氏は、若き日にはゲリラ活動に身を投じ、13年間も獄中生活を送っています。
孤独な歳月の中で、彼は「消費主義から距離を置いた、シンプルな生き方」に価値を見出したと語っており、

大統領在任中に、再生可能エネルギーによってウルグアイの電力の98％をまかなうという偉業を見事に達成しました。

※余談ですが、私は時々、塾の中学生に社会を教えています。

「日本の電力」「発電にはどのような種類があるか？」を地理の授業で学ぶのは、中学2年生です。

このムヒカさんの教材で英語の授業をしている時、「再生可能エネルギー、５つを言ってみよう！」とクイズを出すと、

中2の生徒さん達は（ちょうど6月の中間試験の範囲だったようで）、生き生きと答えてくれました。

「社会が得意な人は、英語も伸びます！」と、日ごろから生徒さんたちに話すようにし、

社会科が得意な生徒には「英語もどんどん伸びそうだね！」と励ますようにしています。

私は以前から、彼の生き方を通して、国家リーダーとしての資質や倫理を生徒たちに伝えたいと考えており、

今年ようやく、その思いを教材として形にすることができました。
（2016年のムヒカさん来日時にも、教材を作成しましたが、その頃はまだ手書きでの制作でした。）

ムヒカ氏の生き様は、単なる一国の元首としての物語にとどまらず、

「真の豊かさ」や「人としての生き方」を問い直す大きなメッセージを私たちに届けてくれています。

近年、「SDGs」への理解を深めている現代の中学生たちは、

ムヒカ氏のような人物に出会うことで、より深い尊敬の念を抱くようです。

彼らの素直で誠実な心が、この教材を使って下さる先生方の、熱意と魅力にあふれる授業を通して

さらに大きく育っていくことを願ってやみません。